

2 住民説明会での質問への解説 事業費削減への提案

挙げられた主な質問 新庁舎の建設費について

解説 ▶ NKS architects / 担当：建築（デザイン）

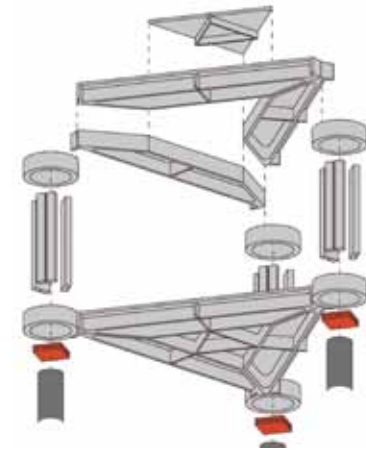
◇ 工期を短縮し、コスト削減

プレキャストコンクリートを採用することで、工期が短縮でき、トータルコストの削減に繋がります。

MEMO

プレキャストコンクリートの特色

- ①工場生産のため、天候に左右されず、高品質のコンクリート部材を安定的につくることが可能
- ②基礎工事中にコンクリート部材を製作できるため、工期が短縮され、工事費を安く抑えられます。



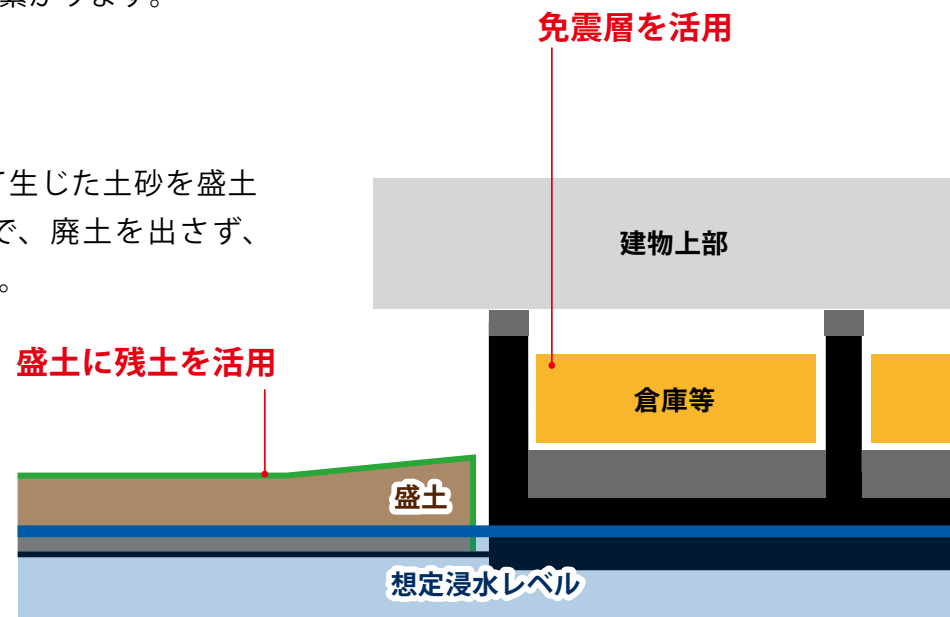
▲コンクリート部材の組立イメージ

◇ 免震層の有効活用

免震層を倉庫等に有効活用することで、別に建物をつくらずコスト削減に繋がります。

◇ 残土の有効活用

地盤改良等によって生じた土砂を盛土に有効活用することで、廃土を出さず、無駄な消費を抑えます。



1 住民説明会での質問への解説 安心安全に貢献できる庁舎への提案

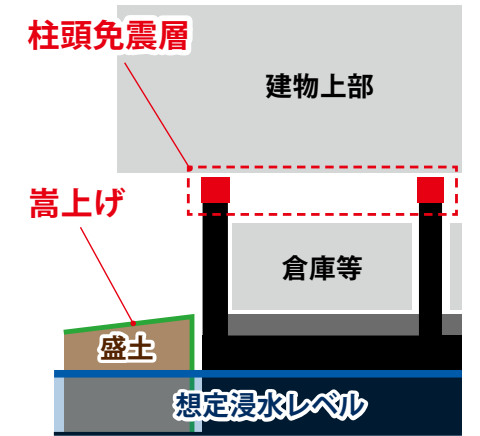
挙げられた主な質問 浸水・津波、地震対策、塩害対策、液状化対策

解説 ▶ NKS architects / 担当：建築（デザイン）

◇ 地震や津波に強い柱頭免震構造を採用

柱頭免震構造は、地震や津波時にも安全性が確保されます。震度7の地震でも揺れを軽減し、通常時と同様に使用できる優れた構造です。

また、敷地全体を0.5m以上嵩上げし、免震層の上部に建物があるので、想定外の津波、高潮にも対応できる構造です。



◇ 塩害に強いコンクリートの採用

海辺に建つ建物のため、塩害に強い高強度なプレキャストコンクリートを採用します。

MEMO

プレキャストコンクリート

⇒工場であらかじめつくられたコンクリート部材。ひび割れしにくい特殊な工法で製作されます。



▲プレキャストコンクリートによる梁のイメージ

◇ 現代技術による地盤改良工法

液状化については、既存のデータに加え、更なる地盤調査を行います。仮に液状化の可能性があっても、現在の技術をもって、液状化を防ぐことは十分可能です。

MEMO

柱頭免震構造の採用により、通常より詳細な地盤調査、構造計算を行うため、より安全性の高いものとなります。